これまでのNGOs KOBEの救援活動一覧へ>>

コロンビア地震・救援委員会

発信番号：1999.1.25 コロンビア中西部Ms.6.0
救援期間：1999.1.26~12.31
1999年1月26日地震発生後、様々な方面から情報が集められ、その結果上智大学のクラスボ・アンドラーデ氏を伊勢白鳥と「現地のNGO団体"SER VIVIENDA"を通して現地の支援活動を行うことになった。
神戸をキッカケに呼びかけ、集められた募金は現地で被災者に届かせるべく「ケアセンター」建設とそこで行われるケアープログラムの費用として使われることになった。今現在建設機械を被害が大きかったアルメニア市内に残している。
7月、7月以降は、国取敢金の神田神戸ボランティアクラスタ・アンドラーデ氏と共に東京現地に入り、現在の状況と今後の予定を確認などの調整を行った。
救援金活動報告 HO.MO.ZIP&KOE.TXT

コロンビア略図

■南米コロンビア地震救援活動現地訪問レポート

1999年7月29日(木)

7/28.午後8時半(日本時間7/29 午前11時半). コロンビアのサンタ・フェ・デ・ボゴタに無事到着。ここは海抜2,640メートル。気温はとても涼しくて快適です。必要
ライトウェーブ社からのチェックインでは次の約束にチェックをしなければならないから。知らない人から頼まれても絶対に現地で知らない人にはなるべく接触しないでおきたいと思います。
ボゴタでは、ビデオ撮影、シャボン玉などを手に持ってボゴタ市内を歩いたりしました。
ボゴタ市の中心地、ボゴタ広場の前の通りは、ボゴタ市の中心地で、国道のスラムが広がっている。様民達の様子いろいろな方が列をなしている。
ボゴタ市内の中心地の様子は、ボゴタ市内の中心地で、ボゴタ市内の中心地で、ボゴタ市内の中心地で